

こんにちは。または、初めまして。創作文芸を中心に活動するサークル、『雪待終夜』の鈴響、雪冬です。

時間を取ってしっかりとしたペーパーを作るのはこれが初めてですが、何から書くべきか悩むのですが、簡単にサークルに関することでも。

元々私は友人と結成した『雪解け水』に所属していました。以前まではこのサークル名で前橋のイベントに参加していたので、聞いたことが

ある方もいるかも知れません。その雪解け水から六月に脱退し、新しく作った個人サークルが、この雪待終夜です。

雪解け水の時も高崎のイベントにサークル参加したことはないですし、雪待終夜としてイベントに参加するのはこれが初めてですから、心機一転どころか、全ての点で初サークル参加のような気持ちです。

ちなみに、活動ジャンルは創作文芸です。スタジオ101さんのイベントでは、創作一般ですね。今のところ

る殆どの作品が恋愛小説で、長編を中心にしながらも時々短編や中編を書いています。お話の傾向から言えば、男性の方が好みななと思うのですが、女性も楽しんで貰えれば幸いです。

サークルの紹介が済んだところで、ちょうど紙面もいっぱいようです。最後に通販のお知らせです。オンラインからの申し込み限定ですが、通販もやっています。興味があればサイトにもお越しください。それではまたどこかのイベントで。

作品紹介

短編・短編集

透明という色 [150円：B5・22P・コピー（表紙4C・インクジェット・IJ）]

大学に通う優はある日、夢を見た。少女が線路に飛び込んで自殺する夢。そしてその日の夕方…少年は夢で見た少女とそっくりの人に出会う。彼女は自らを『みすい』と名乗った。

中編

巫女のスゝメ [250円：A5・68P・レーザー（表紙4C・IJ）・合同誌]

時も場所も違う二つの神社に、二組の巫女がいた。仲の良い家族三人で小さいながらも神社を切り盛りする巫女達と、巫女という立場にありながら神の存在を問う巫女。

立場も環境も違えど、四人は全員巫女。彼女たちはその小さな胸に何を思い、何を抛り所にして生きているのだろうか。

恋の from A to Z [100円：B5・48P・レーザー（表紙黒単色）]

五組の男女がいた。友達、恋人、夫婦、それぞれの関係は違うけど、考えていることはみんな同じだった。貴方のことが好き。from A to Z。それは、始まりから終わりまでの意味。五人の主人公が紡ぐ「恋の始まりから終わりまで」の26の物語は最後はどこへ辿り着くのだろうか。

長編

光になりたい～上巻～ [300円：B5・64P・レーザー（表紙4C・IJ）]

聡のクラスに少女が転入してきた。目が見えないだけのその子は、普通の人だった。その証拠に転校して幾日か過ぎると、彼女はクラスに馴染んでいた。

そんな時、彼女は「同じ部活の子が苛められている」と、聡とその友人に相談を持ちかけた。どうしてもその子を救いたいという彼女のために、聡達は立ち上がることにした。

光になりたい～下巻～ [250円：B5・80P・レーザー（表紙4C・IJ）]

聡達の活躍によって苛めの問題は無事に解決し、由梨絵には新しい友達が出来た。由梨絵と薫、そして聡達を中心に、お互いに支え合い成長していく。そんな中、聡は自分の気持ちに気が付きつつあった。

ReSin-ens リサイエンス 遼なる風、彩りの音、降りしきる雪 [550円：A5・202P・レーザー（表紙4C・IJ）]

氷結した時間を背負って生きる少年と少女の前に、一人の女が現れた。他人が疎ましいと思っていた二人はその女を無視しようとしたが、気が付いたら心を許してしまっていた。

他人という『存在』から、より密接な『関係』になる時、三人はどこへ向かうのだろうか。

小説工房  
雪待終夜

新刊の紹介

リサイエンス  
ReSin-ens 遼なる風、彩りの音、降りしきる雪

好きという感情？ それは何？ それがあると、満腹になるまでご飯が食べられるの？ 誰にも裏切られないですむの？

好きという感情？ それは何？ それがあると、死んだ人が生き返るのか？ 誰にも迷惑をかけずに生きられるのか？

私はもう、上辺だけの付き合いしかできない。  
俺はもう、恋なんてしちゃいけないんだと思った。

一人の少年と少女、二人の目の前に少女は現れた。それはまるで、季節を払拭する颯のように。

ある時から止まっていた三人の歯車が急激に動き出す。その歯車によって、三人は一体どこに向かうのだろうか。

2003年に発表したゲーム用シナリオ『ReSin-ens ～遼風彩音～』のリメイク作品。随所に新しいシナリオを盛り込み、方向性はそのまま、新しい一つの物語として生まれ変わっています。

本作品は、全四巻（予定）の第一巻です。

その他のお知らせ

ウェブサイト [小説・音楽・同人・日記]

<http://snowysnow.sakura.ne.jp/>

表紙の写真

2006年9月15日、青森県にて撮影。